

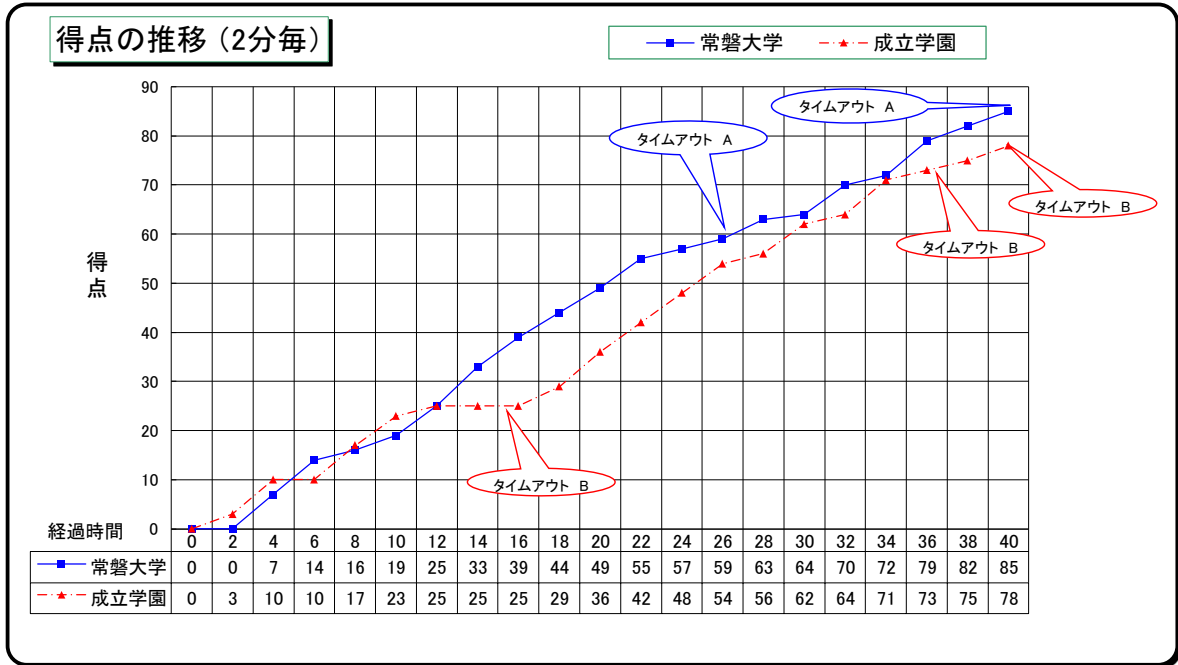
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜2回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Cコート	第5試合 15:00～										
<チームA> <b style="font-size: 1.2em;">常磐大学 茨城	85 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border: none;"> <tr><td style="font-size: 2em;">{</td><td style="padding: 0 5px;">19 1Q 23</td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="padding: 0 5px;">30 2Q 13</td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="padding: 0 5px;">15 3Q 26</td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="padding: 0 5px;">21 4Q 16</td><td></td></tr> </table> 78	{	19 1Q 23			30 2Q 13			15 3Q 26			21 4Q 16		<チームB> <b style="font-size: 1.2em;">成立学園 東京
{	19 1Q 23													
	30 2Q 13													
	15 3Q 26													
	21 4Q 16													
主審：長谷川 裕(神奈川) 副審：手塚 清孝(山梨)														

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	緑川 翔太	20	4	3	2	
◎	5	丹波 裕人	5		2	1	3
◎	6	大竹 尚輝	13	1	3	4	3
◎	7	梶山 聖人	12		5	2	4
◎	8	木次 武志	14		6	2	3
○	9	青木 風真	8		4		1
○	10	海老原 直人	3		1	1	1
○	11	大内 洸弥					
○	12	亀山 風色	10	2	2		1
	13	吉田 奎吾					
	14	佐々木 優鷹					
	15	宮田 凱人					
○	16	佐藤 大地					
	17	茂又 健瑠					
	18	山口 凌太					
コーチ		川崎 秀典					
合計			85	7	26	12	16

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	小林 伊織	23	1	5	10	3
◎	5	熊谷 広生	3	1			2
○	6	戸田 健介					3
○	7	長島 悠作					1
	8	北村 仁					
○	9	田口 辰海					
	10	胡 胤耀					
◎	11	南島 隼人	2		1		4
○	12	船橋 健太					
	13	井上 悠暉	22	3	6	1	2
	14	奥 巧充					
	15	中津留 耕介					
◎	16	磯田 拳太郎	2		1		
○	17	樋口 和奏	10		5		2
	18	金城 光	16		6	4	1
コーチ		袴田 清美					
合計			78	5	24	15	18

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者： 柳原 健志

第1P、ディフェンスは、常磐大学(以下常磐)、成立学園(以下成立)共に、ハーフコートマンツーマンで始まる。先制は成立④小林がバスケットカウントを決める。序盤、お互いにファウルが重なり両チームともにベースを掴めない。常磐は⑥大竹の3pで先に動き出し一時リードしたが、ターンオーバーが目立ち得点を重ねることができない。対する成立は、⑦樋口の合わせるプレーや⑬井上の3pで得点し19-23とリードし第1P終了。

第2P開始早々、常磐⑦梶山がジャンプシュートを決めると⑧木次がゴール下で合わせ得点し同点に戻す。更に⑩亀山が3pを決め逆転に成功する。勢いに乗る常磐は途中出場⑨青木が積極的に攻め得点しリードを12点に広げる。成立は、タイムアウトで流れを変えようとするが、常磐⑧木次④緑川が3pを決めるなど勢いを止めることができない。終盤成立④小林が3pやドライブインなどで果敢に攻め返すも49-36と常磐リードで前半を終える。

第3P開始直後は、成立⑬井上がシュートを決めれば、常磐④緑川が決め返すなど互いに一歩も譲らない。しかし、常磐のファウルが増えると、成立⑩樋口⑩金城が攻守共にインサイドで奮闘し、④小林がドライブインからバスケットカウントを決めるなど点差を5点差に縮める。常磐はタイムアウト後ディフェンスを3-2ゾーンディフェンスに変え相手の追撃を遮ろうとする。残り1分、成立⑩金城が3pなどで連続得点し64-62と成立が2点差にまで追いつく。

第4P、第3Pは得点に苦しんだ常磐は、④緑川が3pを決め勢いを取り戻したか見えたが、ファウルやターンオーバーに苦しみリズムが掴めない。冷静に好機を伺う成立は⑬井上が3pを決め逆転。しかし、常磐④緑川が3pを決め返すと⑩海老原⑦梶山がドライブインで応戦しリードを奪い返す。残り5分、6点リードされた成立はタイムアウトを請求し流れを変えようとするが、ファウルが重なり逆に相手にフリースローによる得点を許してしまう。終盤、⑤熊谷が3pを決めるなど果敢に攻める成立だったが、冷静にボールを回しフリースローをものにした常磐が、85-78でBブロック準決勝進出を決めた。